

令和5年度第1回桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 会次第

日 時：令和5年5月12日（金） 11：00～12：00

場 所：鹿児島市役所みなと大通り別館6階ソーホー会議室

1 開 会

2 役員選任

3 議 事

- (1) 第1号議案 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則の一部改正
- (2) 第2号議案 令和4年度事業報告
- (3) 第3号議案 令和4年度収支決算
- (4) 第4号議案 令和5年度事業計画（案）
- (5) 第5号議案 令和5年度収支予算（案）

4 その他

5 閉 会

【配布資料】

- (1) 会次第
- (2) 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会名簿及び座席図
- (3) 役員選任関係資料
- (4) 議事関係資料（第1～5号議案）
- (5) 参考資料1（桜島・錦江湾ジオパークアクションプラン）
- (6) 参考資料2（ジオ資源一覧）

## 第 1 号議案

### 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則一部改正の件

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則（平成30年5月7日施行）の一部を次のように改正する。

別表2（第10条関係）中

「

幹事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園保護管理官
幹事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署森林技術指導員

」

を

「

幹事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園利用企画官
幹事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署総括地域林政調整官

」

に改める。

別表3（第12条関係）中

「

国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	岩松 暉
------------------	------

」

を削る。

付 則

この会則は、令和5年5月 日 から施行する。

（改正理由）

幹事の職名変更及び学術アドバイザーの退任に伴い、改正するもの。

(参考)

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則新旧対照表

\_\_\_\_\_は改正部分

現行		改正案	
別表2 (第10条関係)		別表2 (第10条関係)	
役職	氏名	役職	氏名
幹事	鹿児島地方気象台防災管理官	幹事	鹿児島地方気象台防災管理官
幹事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園 <u>保護管理官</u>	幹事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園 <u>利用企画官</u>
幹事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署 <u>森林技術指導員</u>	幹事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署 <u>総括地域林政調整官</u>
幹事	鹿児島県鹿児島地域振興局総務企画部総務企画課長	幹事	鹿児島県鹿児島地域振興局総務企画部総務企画課長
別表3 (第12条関係)		別表3 (第12条関係)	
職名	氏名	職名	氏名
国立大学法人京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授	井口 正人	国立大学法人京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授	井口 正人
<u>国立大学法人鹿児島大学 名誉教授</u>	<u>岩松 暉</u>	<u>削徐</u>	<u>削徐</u>
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	大木 公彦	国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	大木 公彦

## 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、桜島・錦江湾におけるジオパークに関する活動を地域一体となって推進していくことを通して、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ジオパークに関わる企画・実施に関すること
- (2) ジオパークに関わる情報発信に関すること
- (3) その他第2条の目的を達成するために必要な事項に関すること

(構 成)

第4条 協議会は、別表1に掲げるものをもって構成する。

(役 員)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長及び副会長は、委員の互選により選任する。

2 監事は、公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事及び鹿児島市ホテル旅館組合理事長とする。

(役員の任期)

第7条 役員の前任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

3 欠員補充のため選任された役員の前任期は、前任者の前任期とする。

(役員の前務)

第8条 役員の前務は次のとおりとする。

- (1) 会長は協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- (3) 監事は協議会の会計を監査する。

(会議)

第9条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 会議の前議長は、会長がこれを務める。

3 会議は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 事業計画並びに予算及び決算に関すること。
- (2) 前各号に掲げるもののほか、事業に係る重要な事項に関すること

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

5 やむを得ない理由のため会議を招集できない場合は、書面又は電磁的方法により、審議し、決定することができる。

(幹事会)

第10条 協議会の運営を円滑に行うため、幹事会を置く。

2 幹事会は、事業計画並びに予算及び決算等を審議し、協議会に提案する。

3 幹事会は、協議会の事業に関する具体的な事項について検討する。

4 幹事会は、別表2に掲げるものをもって構成する。

5 幹事会に座長を置く。

6 座長は鹿児島市観光交流局観光交流部長とする。

7 座長の職務等については、第8条第1号並びに前条第1項、第2項、第4項及び第5項の規定を準用する。

(ワーキンググループ)

第11条 協議会の個別の事業に関する具体的な事項について検討し、その推進を図るため、幹事会に、ワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(学術アドバイザー)

第12条 協議会に、学術アドバイザーを置く。

2 学術アドバイザーは、別表3に掲げるものをもって構成する。

3 学術アドバイザーは、事業に関し必要に応じて助言を行う。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 協議会の事務局は、鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課に置く。

3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第14条 協議会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(会計期間)

第15条 協議会の会計期間は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

(その他)

第16条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

付 則

1 この会則は、平成25年4月12日から施行する。

2 平成25年度の会計期間は、第14条の規定にかかわらず、平成25年4月12日から翌年3月31日までとする。

付 則

この会則は、平成26年4月22日から施行する。

付 則

この会則は、平成27年4月22日から施行する。ただし、第12条第2項の改正規定は、平成27年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

付 則

この会則は、平成29年4月26日から施行する。

付 則

この会則は、平成30年5月7日から施行する。ただし、改正後の規定は、平成30年4月1日から適用

する。

付 則

この会則は、平成31年3月28日から施行する。ただし、第13条第2項の改正規定は、平成31年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和2年4月28日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和2年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和3年4月28日から施行する。

付 則

この会則は、令和4年4月27日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和4年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和5年 月 日から施行する。

別表1（第4条関係）

## 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会委員

役 職	職 名
委 員	鹿児島市長
委 員	始良市長
委 員	垂水市長
委 員	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所長
委 員	鹿児島地方気象台長
委 員	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所長
委 員	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署長
委 員	鹿児島県鹿児島地域振興局長
委 員	鹿児島県始良・伊佐地域振興局長
委 員	鹿児島県大隅地域振興局長
委 員	公益社団法人鹿児島県観光連盟専務理事
委 員	一般社団法人日本旅行業協会九州支部鹿児島県地区委員会委員長
委 員	鹿児島経済同友会幹事代表
委 員	公益社団法人鹿児島青年会議所理事長
委 員	国立大学法人京都大学火山活動研究センター長
委 員	国立大学法人鹿児島大学総合研究博物館長
委 員	公益財団法人鹿児島市水族館公社館長
委 員	鹿児島市立科学館長
委 員	鹿児島県立博物館長
委 員	石橋記念公園館長
委 員	鹿児島県地学会長
委 員	NPO 法人桜島ミュージアム理事長
委 員	NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
委 員	NPO 法人くすの木自然館代表理事
委 員	桜島ジオサルク代表
委 員	ソーリズムたるみず代表
委 員	株式会社南日本新聞社営業局事業本部長
委 員	株式会社エフエム鹿児島代表取締役社長
委 員	鹿児島シティエフエム株式会社代表取締役社長
委 員	NPO 法人たるみずまちづくり放送理事長
委 員	株式会社あいらFM代表取締役
委 員	始良市観光協会会長
委 員	垂水市観光協会会長
委 員	鹿児島市観光交流局長
委 員	始良市企画部長
委 員	垂水市水産商工観光課長
監 事	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事
監 事	鹿児島市ホテル旅館組合理事長

別表2（第10条関係）

## 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会幹事会幹事

役 職	職 名
座 長	鹿児島市観光交流局観光交流部長
幹 事	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所調査第一課建設専門官
幹 事	鹿児島地方気象台防災管理官
幹 事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園利用企画官
幹 事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署総括地域林政調整官
幹 事	鹿児島県鹿児島地域振興局総務企画部総務企画課長
幹 事	鹿児島県始良・伊佐地域振興局総務企画部総務企画課長
幹 事	鹿児島県大隅地域振興局総務企画部総務企画課長
幹 事	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事務局長
幹 事	公益社団法人鹿児島県観光連盟事務局長
幹 事	一般社団法人日本旅行業協会九州支部鹿児島県地区委員会副委員長
幹 事	鹿児島市ホテル旅館組合主幹
幹 事	鹿児島経済同友会事務局長
幹 事	公益社団法人鹿児島青年会議所理事代表
幹 事	NPO 法人桜島ミュージアム理事長
幹 事	NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
幹 事	NPO 法人くすの木自然館代表理事
幹 事	桜島ジオサルク代表
幹 事	ツーリズムたるみず代表
幹 事	鹿児島市企画財政局企画部長
幹 事	鹿児島市危機管理局次長
幹 事	鹿児島市環境局環境部長
幹 事	鹿児島市教育委員会事務局教育部長
幹 事	鹿児島市船舶局次長
幹 事	始良市商工観光課長
幹 事	始良市危機管理課長
幹 事	始良市生活環境課長
幹 事	始良市学校教育課長
幹 事	垂水市総務課長
幹 事	垂水市水産商工観光課長
幹 事	垂水市生活環境課長
幹 事	垂水市学校教育課長



別表3（第12条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 学術アドバイザー

職 名	氏 名
国立大学法人京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授	井口 正人
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	大木 公彦
公益財団法人鹿児島市水族館公社 館長	佐々木 章
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	小林 哲夫
文化庁文化財部調査員	寺田 仁志
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	富永 茂人
NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事	東川 隆太郎
株式会社島津興業尚古集成館 館長	松尾 千歳

## 第2号議案

### 令和4年度事業報告

令和4年度は、鹿児島市、姶良市、垂水市で連携し、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図るため、ジオパーク活動に取り組んだほか、アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムへの参加など国際交流・国際貢献に関する取組を進めた。

取組項目に記載の【◎】は、日本ジオパーク新規認定（エリア拡大）審査において示された課題に対するアクションプランに関連した取組。

#### 【基本方針1 経済】に関する取組

##### 1 ジオツアー（2回）【◎】

###### (1) 水の恵みを体感！ジオパークバスツアー

垂水市猿ヶ城溪谷・森の駅たるみずでのシャワークライミング、飲む温泉水の実験と解説を含むバスツアーを実施した。

【実施日】 令和4年10月2日（日）

【参加者】 40名

【ジオ資源等】 猿ヶ城溪谷



###### (2) 龍門司坂ウォーキング&ピザ焼き体験！桜島・錦江湾ジオ巡りツアー

姶良市の龍門滝、龍門司坂、高倉展望台、金山橋をガイド付きで解説し、地元食材を使ったピザ焼き体験を含むバスツアーを実施した。

【実施日】 令和4年11月6日（日）

【参加者】 39名

【ジオ資源等】 龍門滝、龍門司坂、高倉展望台、金山橋



##### 2 イベント

###### (1) 桜島・錦江湾ジオパークスタンプラリー

桜島・錦江湾ジオパークの見どころをめぐって、市民や観光客のジオに関する知識や認知度の向上を図ることを目的としてスタンプラリーを実施した。（新型コロナウイルス感染症対策として、非接触で参加できるスマートフォンアプリを活用）

【実施日】 令和4年7月23日（土）～11月30日（水）

【対象施設】 44施設

【応募件数】 1,062件（内、144件が全施設達成）



### 3 ガイド活動支援【◎】

#### (1) 認定ジオガイド活動補助金交付

認定ジオガイドで構成される団体に対し、活動補助金を交付した。

【補助団体】 桜島ジオサルク

【補助金額】 200,000 円

#### (2) 認定ジオガイドスキルアップ講座

##### ① スキルアップ研修 (3 回)

【実施日】 令和5年1月26日(木)、2月10日(金)、3月14日(火)

【内 容】 ガイドにとって大切な要素 (TORE) についての講義  
TORE を踏まえたプログラム計画シートの作成  
計画シートに基づく各ガイドの実践動画の分析、評価  
Thematic : テーマがある、Organized : わかりやすく整理・構成されている  
Relevant : 参加者に関連がある、Enjoyable : 楽しい

### 4 石の文化と火山のつながりプロモーション

#### (1) 夏休み子ども集中講座

【実施日】 令和4年7月27日(水)

【参加者】 8名

【内 容】 鹿児島市慈眼寺公園内観察、  
ふるさと考古歴史館見学等



#### (2) ガイド研修会

【実施日】 令和4年10月12日(水)

【参加者】 8名

【内 容】 鹿児島市北部・始良市の地形・地質に関するワークショップ

#### (3) ガイドマップ作成

(石の文化と火山のつながりマップ～ダイナミックな鹿児島市北部～始良市編)

【内 容】 始良市のまち歩きやバスツアーで活用できるガイドマップを作成した。

【部 数】 3,000 部

#### (4) 新作ガイドマップを活用したガイド対象現地研修会

【実施日】 令和5年3月20日(月)

【参加者】 10名

【内 容】 重富海岸や龍門滝、龍門司坂の地質や  
石の観察と地形の説明・解説等



### 5 ガイドマップ・エリアマップ【◎】

#### (1) 桜島・錦江湾ジオパークガイドマップ (日本語・英語) のデータを更新した。

※印刷は令和5年度

(2) エリア内の体験アクティビティをまとめたマップ（日本語）データを作成した。

※印刷は令和5年度



(3) 桜島周辺に特化したエリアマップを日本語版 70,000 部増刷し、関係機関及びマップ上掲載店舗等に配付した。

## 6 看板設置【◎】

(1) 全体看板等を、各市に1基ずつ設置した。

- ・鹿児島市  
～桜島フェリー車両甲板  
(第二桜島丸～サクラフェアリー号)



- ・始良市  
～加治木駅前



- ・垂水市  
～垂水港フェリーターミナル内





## 7 ジオガストロノミープロモーション【◎】

鹿児島島の地形・地質と食（文化）とのつながりをストーリー付け、発信する取組の方向性を検討するため、民間の委員を交えた検討会議を開催した。

【実施日】 令和5年3月1日（水）

【委員】 5名（うち1名欠席）

【内容】 ジオガストロノミープロモーションの目的や今後の活動の方向性について議論し、また、来年度の認定10周年イベントに関連したジオガストロノミーとしての取組についても検討を行った。

## 【基本方針2 教育】に関する取組

### 1 桜島・錦江湾ジオパークスケッチコンクール【◎】

桜島や錦江湾の自然や風景、桜島・錦江湾での遊びや農業体験などのジオに関連するものを描くことを通じて、桜島・錦江湾ジオパークの魅力を知り、自分たちの住んでいる地域を再認識することで、愛着や誇りを持ってもらうことを目的としてスケッチコンクールを実施した。

【対象】 鹿児島市、始良市、垂水市の市立小学校に通う小学生

【応募総数】 2,252点（50小学校）

【表彰式】 令和4年12月3日、41名参加

【受賞数】 鹿児島市長賞1点、始良市長賞1点、垂水市長賞1点、優秀賞8点、優良賞21点、桜島フェリー賞10点、学校賞3点

【展示】 イオンモール鹿児島、イオンタウン始良、道の駅たるみずはまびら、重富海岸なぎさミュージアム等



鹿児島市長賞



始良市長賞



垂水市長賞



表彰式の様子

### 2 詮議

郷中教育で重視された「詮議」を基にした、防災についてのカードゲームを活用し、防災について考える力を養う講座を実施した。

No	実施日	実施団体	参加者
1	令和4年6月22日（水）	鹿児島女子短期大学	約90名
2	7月15日（金）	平之町お達者クラブ	8名
3	9月13日（火）	小野胡摩田お達者クラブ	12名
4	10月11日（火）	下荒田1丁目お達者クラブあつまろ会	10名
5	令和5年2月14日（火）	武町あけぼのお達者クラブ	16名
6	3月7日（火）	南郡元お達者クラブ	17名
7	3月9日（木）	すみれ会	12名

3 桜島火山防災連絡会への参加（4回）

【内 容】 京都大学・鹿児島地方気象台による桜島の現状についての説明等

4 第53回桜島火山爆発総合防災訓練でのブース出展

桜島の噴火モデル実験を実施し、防災に関する啓発を実施した。

【実施日】 令和5年1月7日（土）

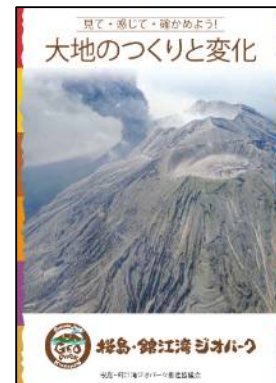
【場 所】 鹿児島市立甲東中学校

5 副読本の作成・配布【◎】

地学への関心を高めるとともに、郷土への誇りや愛着の醸成を図るため、3市の小学6年生を対象に、理科の「大地のつくりと変化」の単元についての副読本を配布した。

(1) 配布7,245部

- ・鹿児島市立小学校77校、鹿児島大学附属小学校、池田小学校、三育小学校
- ・始良市立小学校17校
- ・垂水市立小学校7校



(2) 活用状況に係るアンケート（公立小学校101校を対象）

小学6年理科の単元「大地のつくりと変化」において、副読本を授業で活用したか？

- ・活用した 101校（100%）【令和3年度：85校（82.5%）】
- ・活用しなかった 0校（0%）
- ・未回答 0校（0%）

6 ジオ講座（4回）【◎】

(1) ジオ講座 in 始良市「別府川の貝化石」

重富海岸を出発し、別府川中流に現れている約8,000年前の干潟の貝化石を観察し、海とのつながりを学ぶ講座を開催した。

【実施日】 令和4年12月10日（土）

【場 所】 重富海岸、別府川中流 他

【参加者】 11名

【講師】 大木 公彦氏（鹿児島大学名誉教授）



(2) ジオ講座 in 始良市「蒲生麓と米丸マール」

蒲生麓の地質と米丸マールをはじめとする蒲生の火山活動について知る講座を開催した。

【実施日】 令和5年2月26日（日）

【場 所】 蒲生観光交流センター

【参加者】 20名

【講師】 大木 公彦氏（鹿児島大学名誉教授）



(3) ジオ講座「牛根埋没鳥居誕生ストーリーをパンケーキで楽しく学ぼう」

パンケーキアーティストによる紙芝居形式での牛根埋没鳥居誕生のストーリーを紹介する講座を開催した。

- 【実施日】 令和5年2月12日(日)  
【参加者】 6名  
【内容】 キーホルダーづくり体験  
ジオサイト紙芝居「牛根埋没鳥居」  
【講師】 パンケーキピアノ氏



(4) ジオ講座「TTKQたるみずたのかんさぁクエスト」

石造立像からジオを学び、垂水市の魅力を再発見する講座を開催した。

- 【実施日】 令和5年3月11日(土)  
【参加者】 13名  
【内容】 垂水市の歴史やジオパークに関する講演  
TTKQたるみずたのかんさぁクエスト  
【講師】 東川 隆太郎氏(NPO法人かごしま探検の会)



7 ジオ出前授業・中高の連携

(1) 鹿児島情報高等学校へ講師派遣

- 【実施日】 令和4年5月12日(木)  
【参加者】 37名  
【内容】 桜島や錦江湾の地形や景観、生物等についての講義  
【講師】 吉瀬学術推進員

### 【基本方針3 保護・保全】に関する取組

1 ジオ資源保全会議の開催【◎】

ジオ資源の保全と適切な利活用を図るため、桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全会議を設置し、関係機関との情報共有や意見交換等を実施した。

【開催日】 令和5年3月22日(水)

2 ジオ資源台帳の整備【◎】

ジオ資源保全会議での審議を踏まえ、新たにジオ資源を1件追加した。

始良市：金山橋・板井手の滝

3 ジオ資源パトロールの実施

ジオ資源の現状確認や、新たなジオ資源の調査のために、ジオ資源パトロールを行った。

鹿児島市：千貫平自然公園、清泉寺の磨崖仏群、桜島口

始良市：金山橋・板井手の滝、黒川岬

垂水市：太崎観音崎

#### 4 学術研究助成【◎】

桜島・錦江湾ジオパークエリアにおける学術的根拠の充実のため、2件の研究に対して助成を行った。

- (1) 九州南部の桜島・錦江湾地域における水生生物の遺伝構造 -火山活動は生物の遺伝構造に影響を与えたのか？

【対象者】 吉田 匠（信州大学総合理工学研究科）

【実施期間】 令和4年9月9日～令和5年2月24日

【助成金額】 300,000円

- (2) 桜島火山初期活動噴出物の分布および岩石学的性質の解明

【対象者】 西原 歩（産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門）

【実施期間】 令和4年10月11日～令和5年2月28日

【助成金額】 300,000円

#### 5 ストーリーの掘り起こし【◎】

- (1) 3市に共通するジオストーリーにまつわる情報共有

3市に共通するジオストーリーの深掘りのため、有識者や地元住民と意見交換を行った。その結果、錦江湾の湾内交通に関して考察を進めることができた。

【実施日】 令和5年1月19日（木）

【場所】 猿ヶ城溪谷森の駅たるみず

【参加者】 15名

### 【基本方針4 運営体制】に関する取組

#### 1 推進計画

桜島・錦江湾ジオパーク推進計画を改訂した。

【改訂版計画の概要】

- (1) 計画期間 令和4年度～7年度  
 (2) 全体構想 ジオパーク活動を通じた持続可能な地域づくり  
 (3) 基本方針 ①経済 ②教育 ③保護・保全 ④運営体制  
 (4) 基本計画 ①～④に係る具体的な取組

#### 2 協議会・会議【◎】

開催日	会議名	内容
令和4年4月12日（火）	3市主管課長会議	・白金酒造株式会社との寄附に関する覚書交換について ・令和4年度第1回桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会について ・桜島・錦江湾ジオパーク推進計画について
4月19日（火）	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会幹事会	・桜島・錦江湾ジオパーク推進計画改定 ・令和3年度事業報告及び決算 ・令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）
4月27日（水）	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会	・桜島・錦江湾ジオパーク推進計画改定 ・令和3年度事業報告及び決算 ・令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）
6月3日（金）	ワーキンググループ	・令和4年度委託業務の概要について意見交換 ・ジオパーク活動団体の現状や課題、今後の方向性について意見交換
9月7日（水）	ワーキンググループ	・桜島・錦江湾ジオパークの特徴について話題提供 ・ジオストーリーについて意見交換 ・桜島・錦江湾ジオパークの魅力を活かすアイデアについて意見交換
令和5年2月7日（火）	ワーキンググループ	・ジオパーク活動の全体像と今後の取り組みアイデアについて話題提供 ・ジオパーク活動の全体像について意見交換 ・来年度以降のジオパーク活動の方向性について意見交換



### 3 世界認定を見据えた体制構築・協議【◎】

#### (1) 霧島ジオパークとのエリア統合に向けた取組

##### ① 霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局との意見交換（4回）

【実施日】 令和4年6月8日（水）、10月13日（木）、令和5年1月11日（水）、  
3月22日（水）

【内 容】 霧島ジオパークエリア拡大申請の状況、両ジオパークの今後の連携 等

##### ② 桜島・錦江湾ジオパークと霧島ジオパークのガイド交流

【実施日】 令和5年2月19日（日）

【参加者】 桜島・錦江湾ジオパークガイド、霧島ジオパークガイド、桜島・錦江湾ジ  
オパーク推進協議会事務局、霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局

【内 容】 桜島・錦江湾ジオパークガイドによる現地案内、  
参加者全員によるガイドに関する意見交換会

#### (2) 霧島ジオパークのエリア拡大に係る新規認定現地審査への同行

【日 程】 令和4年8月17日（水）・18日（木）

【視察場所】 えびの高原、栗野岳温泉八幡大地獄（湧水町）、御池皇子港（高原町）  
溝ノ口洞穴（曾於市）、上野原縄文の森（霧島市）等

【参加者】 大迫事務局次長、紫垣事務局員、吉瀬学術推進員

### 4 資金調達

#### (1) 白金酒造株式会社からの寄附金受入

・寄附金額 150,630円

（国分グループ本社株式会社への「薩摩白金」シリーズの出荷数に10を乗じた  
金額から振込手数料を除いた金額）

・出荷数 15,096本



### 5 出前トーク

#### (1) テーマ「桜島・錦江湾ジオパークって何だろう？」

桜島・錦江湾ジオパークの魅力や鹿児島島の成り立ちを学ぶ講座を実施した。

No	実施日	実施団体	参加者
1	令和4年5月12日（木）	鹿児島情報高校	37名
2	6月24日（金）	坂西長寿サロン	13名
3	6月28日（火）	若武会	10名
4	7月20日（水）	野頭お達者クラブ	8名
5	令和5年1月10日（火）	鹿児島県立短期大学	約120名

## 6 ジオカフェ（3回）

幅広い世代にジオパークを周知するため、お茶やお菓子を楽しみながら気軽に桜島・錦江湾ジオパークの魅力に触れ、学べるイベントを実施

### (1) オンラインイベント「ジオ酒場」

ジオパークに関わる人の裾野を広げるため、気軽にジオに触れられるオンラインイベント「ジオ酒場」を日本ジオツーリズム協会と共催で開催した。

- 【実施日】 令和5年3月17日（金）
- 【場 所】 オンライン
- 【参加者】 33名
- 【テーマ】 「おいしくて面白いジオ菓子の世界」



### (2) ジオカフェ「リバーウォーク」（垂水市）

猿ヶ城溪谷沿いを歩いて、水切り体験やロックバラランシング体験を通じて、垂水の魅力を味わうイベントを開催した。

- 【実施日】 令和4年12月11日（日）
- 【場 所】 猿ヶ城溪谷森の駅たるみず、本城川
- 【参加者】 18名
- 【講 師】 中木氏、中村氏、上村氏（ツーリズムたるみず）  
吉瀬学術推進員

### (3) ジオカフェ in 始良市「龍門司焼を訪ねて」

薩摩焼の窯元として330年の歴史をもち、始良市の土や釉薬を使って作られる龍門司焼の工房を訪ね、職人の技や魅力に触れるイベントを開催した。

- 【実施日】 令和5年1月21日（土）
- 【場 所】 陶夢ランド
- 【参加者】 12名
- 【講 師】 大木 公彦氏（鹿児島大学名誉教授）、川原 竜平氏（龍門司焼企業組合）

## 7 ワークショップ

### (1) 3市に共通するジオストーリーにまつわるワークショップの実施（再掲）

- 【実施日】 令和5年1月19日（木）
- 【場 所】 猿ヶ城溪谷森の駅たるみず
- 【参加者】 15名
- 【内 容】 エリア内の生活面での地域間交流、湾内航路など

### (2) 拡大エリアでのワークショップの開催

#### ① 始良市（2回）

- 【実施日】 令和5年2月1日（水）、3月15日（水）
- 【場 所】 始良市始良公民館
- 【参加者】 各回30名（始良市職員及び観光関係者）

【内 容】 2回シリーズでの開催で、「ジオパークを知る」、「ジオパークを自分事として捉える」をテーマとした、ペアワークでの対話形式でのワークショップ

② 垂水市 (2回)

【実施日】 令和5年2月9日(木)、2月13日(月)

【場 所】 垂水市役所、垂水市商工会

【参加者】 各回30名(垂水市職員)

【内 容】 ジオパークの概念についての情報共有と深堀りとして、ジオパークについて理解を深めるための講義及び自らの部署でのジオパークとの関連性を考えるワークショップ

8 PR活動・ブース出展

(1) エリア内でのPR活動・ブース出展

No	実施日	イベント(主催)	PR内容	参加人数
1	令和4年7月23日(土)	よりみちクルーズ (鹿児島市船舶局)	錦江湾のいきものぬりえ	15名
2	8月6日(土)		錦江湾のいきものぬりえ	13名
3	8月27日(土)		錦江湾のいきものぬりえ	13名
4	10月15日(土) 16日(日)	環境フェスタ (環境未来館)	錦江湾のいきものぬりえ	約150名
5	11月27日(日)	地域まるごと環境フェスタ (環境未来館)	錦江湾のいきものぬりえ	約40名
6	令和5年1月28日(土)	火の島めぐみ館感謝祭 (火の島めぐみ館)	錦江湾のおさかな釣り体験	約60名
7	3月26日(日)	あいら春まつり (始良市観光協会)	プラ蓋で桜島の立体模型を作ろう	約70名

(2) エリア外でのPR活動・ブース出展

No	実施日	イベント(主催)	PR内容	参加人数
1	令和4年8月6日(土)	おおいたジオパークフェスタ (大分県)	プラ蓋で桜島の立体模型を作ろう	約50名
2	令和5年2月18日(土)	南紀熊野ジオパークフェスタ (南紀熊野ジオパーク推進協議会)	錦江湾のおさかな釣り体験	約50名

9 民間企業との連携

(1) 白金酒造株式会社との寄附に関する覚書の交換

【締 結 日】 令和4年4月27日(水)

【覚書の内容】 白金酒造株式会社が国分グループ本社株式会社へ出荷する薩摩焼酎「薩摩白金」シリーズの売上の一部を協議会へ寄附、協議会はSDGsの実現に向けたジオパーク活動に活用する。



- (2) 日本たばこ産業株式会社との連携  
 県内のコンビニスタンド灰皿に掲出するPRポップを製作した。  
 ※令和5年度より南九州ファミリーマートにて掲出開始予定。



## 10 大学との連携 (2回)

- (1) 鹿児島女子短期大学「ライフデザイン論Ⅰ」

【実施日】 令和4年6月22日(水)  
 【内容】 桜島・錦江湾ジオパークの魅力、防災カードゲーム「詮議」  
 【参加者数】 約90名

- (2) 鹿児島県立短期大学「鹿児島学」

【実施日】 令和5年1月10日(火)  
 【内容】 桜島・錦江湾ジオパークって何？  
 桜島・錦江湾ジオパークでやってみたいこと  
 【参加者数】 約120名



## 11 ネットワーク活動

- (1) JGN (日本ジオパークネットワーク)

日本ジオパークネットワーク (以下、JGN)、日本ジオパーク委員会 (以下、JGC) の大会、研修会等参加

- ① JGN通常総会

【開催日】 令和4年5月26日(木)  
 【内容】 事業報告・計画、決算・予算、役員選任

- ② JGN運営会議 (2回)

【開催日】 令和4年5月21日(土)

【内容】 中期計画について等

【開催日】 令和4年10月21日(金)

【内容】 中期計画、新規提案事業、専門員オンラインミーティング事例発表等

- ③ JGN全地域事務局長会議

【開催日】 令和4年10月21日(金)

【内容】 通常総会以降の進捗状況、JGCの状況 等

- ④ 第12回日本ジオパーク全国大会白山・手取川大会

【開催日】 令和4年10月21日(金)～10月23日(日)

【内容】 分科会、口頭発表(専門員オンラインミーティングの取組) 等

- ⑤ 第17回全国研修会(栗駒山麓)

【開催日】 令和4年11月21日(月)～11月23日(水)

【内容】 グループディスカッション、荒砥沢座学及び巡検、模擬講義 等

⑥ 洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク 審査事前確認現地調査

【日 程】 令和4年7月26日（火）～7月29日（金）

【参加者】 柴国際推進員

【内 容】 現地視察、事務局プレゼンテーション、  
審査資料確認（自己評価表等） 等

⑦ JGNでの役割

- ・ JGN中期計画策定委員会委員：大迫事務局次長
- ・ 日本ジオパーク委員会現地調査員：柴国際推進員
- ・ JGNジオパークおためし検定問題作成委員：吉瀬学術推進員
- ・ 国際交流ワーキンググループメンバー：柴国際推進員、和田国際推進員
- ・ 地質標本ワーキンググループメンバー：吉瀬学術推進員、柴国際推進員、和田国際推進員

(2) APGN（アジア太平洋ジオパークネットワーク）

① アジア太平洋ジオパークネットワークオンラインミーティングへの参加（5回）

香港ユネスコ世界ジオパーク主催のオンラインミーティングに参加し、アジア太平洋地域を中心とする国内外ジオパークと情報交換を行った。

② 第7回 APGN シンポジウム（タイ サトゥーンユネスコ世界ジオパーク）への出席

【日 程】 令和4年9月6日（火）～10日（土）

【参加者】 柴国際推進員、和田国際推進員

【内 容】 口頭発表（エリア拡大による結果と世界ジオパーク認定に向けた取組み）  
グローバルジオパークネットワークやアジア太平洋ジオパークネットワークなどの関係者との交流 等

(3) 他エリアとの交流

① クレーターレイクジオパーク（フィンランド）との交流（オンライン・対面各1回）

池田学園主催グローバルサイエンティストアワードに出席するため、クレーターレイクジオパーク関係者とラップヤルヴィ高校関係者が来鹿。桜島の現地視察、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会長への表敬訪問を行った



会長表敬訪問

② 十勝岳ジオパーク推進協議会の視察受入

【受入日程】 令和4年12月21日（水）～24日（土）

【参加者】 2名（専門員）

【視察内容】 活火山と共生する活動・取組、活かし方や伝え方について

【視察場所】 桜島ビジターセンター、黒神埋没鳥居、有村溶岩展望所、  
重富海岸、新城麓など

12 ホームページ・SNSの運用【◎】

(1) 桜島・錦江湾ジオパークホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム）の運用

- ・ 各種イベントの告知や実施状況について発信
- ・ ホームページの一部リニューアル（エリア内の関連施設及びジオ資源情報の追加）

(2) 桜島爆発カウンターの更新

(3) 体験プログラム動画の活用

令和2年度に作成した桜島・錦江湾ジオパークの自然などを体験できるプログラムの動画をホームページ、SNS等に掲載したほか、桜島フェリーターミナルにおいて放映した。

13 PRグッズ作成・配布

桜島・錦江湾ジオパークのPRを行うため、マッキーペンとクリアファイルを作成しイベント等で配布したほか、ポロシャツ等を作成し、市役所や関連施設等で販売した。

	作成数	庁内販売	委託販売	販売合計	販売金額
マッキーペン	3,000本	イベント等での配布用			
クリアファイル	3,000枚				
ポロシャツ	537枚	226枚	94枚	320枚	635,770円
畳コースター	500枚	6枚	71枚	77枚	26,300円
ジオパークマガジン	200冊	0冊	17冊	17冊	7,225円

14 各種アンケート調査

(1) 認知度アンケート調査

桜島・錦江湾ジオパークの今後の事業展開の基となるデータ等を収集するため、認知度等のアンケートを実施した。

【対象】 桜島ビジターセンター来訪者

【調査期間】 令和5年3月14日(火)～3月31日(金)

【回答数】 94件

① 「ジオパーク」という言葉を知っていますか。

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年比
知っている 又は、聞いた(見た)ことはある	60.0%	49.0%	63.6%	61.3%	62.3%	61.7%	▲0.6ポイント
知らない	36.9%	44.8%	33.0%	33.9%	35.8%	37.2%	1.4ポイント
未回答	3.1%	6.2%	3.4%	4.8%	1.9%	1.1%	▲0.8ポイント
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

② 桜島・錦江湾エリアが日本ジオパークに認定され、「桜島・錦江湾ジオパーク」が誕生したことを知っていますか？

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年比
知っている 又は、聞いた(見た)ことはある	33.1%	31.9%	40.3%	46.8%	34.9%	28.7%	▲6.2ポイント
知らない	62.5%	62.4%	55.7%	46.8%	62.3%	70.2%	7.9ポイント
未回答	4.4%	5.7%	4.0%	6.4%	2.8%	1.1%	▲1.7ポイント
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

15 メディアによる情報発信

(1) YouTubeチャンネル“People of Kagoshima”

【公開日】 令和4年10月16日(日)

【内容】 「桜島とお魚の魅力を発信！若きクリエイターの挑戦」(日・英)



## [参考] 鹿児島市事業

### 1 桜島コンシェルジュセンターの運用

桜島・錦江湾ジオパークの案内や外国語（英語）対応を行うため、観光案内等業務委託を行うとともにジオパーク国際推進員・ジオパーク学術推進員を配置した。

#### 【桜島コンシェルジュセンター利用実績】

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
利用者数	観光	32,793	37,469	47,975	59,138	54,997	12,540	12,335	24,986
	その他	917	716	753	822	1,402	2,908	2,434	2,509
	計	33,890	38,185	48,728	59,960	56,399	15,448	14,769	27,495
	対前年度（人数）	4,929	4,295	10,543	11,232	△ 3,561	△ 40,951	△ 679	12,726
	対前年度（割合）	117.0%	112.7%	127.6%	123.1%	94.1%	27.4%	95.6%	186.2%

### 2 桜島・錦江湾ジオパークWAON寄付金

桜島・錦江湾ジオパークのロゴマーク等をWAONのデザインにすることで、桜島・錦江湾ジオパークを市民等に広く周知するとともに、寄附金を受入れ、持続可能なジオパーク活動の確立を図る。

【寄付金額】 444,835円（上記WAONを利用して支払われた金額の0.05%）

【寄附対象期間】 令和4年3月1日～令和5年2月28日（1年毎の自動更新）

### 3 桜島における防災ツーリズム実証実験事業

桜島・錦江湾ジオパークにおける防災の取組の旅行商品化に向けて、「防災」や「インフラ」、「人の営み」を組み合わせた防災ツーリズムの実証実験を行った。

#### 【モニターツアーの実施】

- ・実施日 令和4年12月20日
- ・参加人数 41人（一般参加者24人、観光関係者17人）
- ・参加料金 2,500円
- ・主な内容 防災・インフラ施設の見学（地獄河原、ハルタ山観測室）、桜島ジオサルク及び大隅河川国道事務所職員、京都大学防災研究所准教授等からのガイド・説明  
桜島フェリーチャーター船による避難港からの避難体験・錦江湾クルージング、椿園見学、桜島特産品を使った昼食 など



地獄河原での説明



ハルタ山観測室での説明



錦江湾クルージング

#### 4 桜島フェリー船内観光案内板リニューアル

桜島フェリー内の観光案内板を、ジオパークや活火山などの情報の追加や照明設備のLED化を行い、リニューアルを実施した。

【実施箇所】 3隻、4か所

- (1) 第十六櫻島丸 3階客室、2か所
- (2) 第十八櫻島丸 3階客室、1か所
- (3) 桜島丸 3階客室、1か所



### [参考] 始良市事業

#### 1 ジオパーク活動に関する情報発信

- (1) 広報誌で始良市のジオの見どころを紹介する「ジオが育むたからもの」を連載し、「龍門司坂」「白銀坂」「高倉展望台」など6つの見どころを紹介した。
- (2) 薩摩おいどんカップや和牛共進会、桜島サービスエリアのイベントなどで、ジオパークをPRした。
- (3) あいら春まつり(3/26開催)で、ジオパークワークショップを開催した。

#### 2 始良市観光ガイドマップの作成

- (1) 始良市観光ガイドマップ「始良新見聞録」(30,000部作成)のマップ面にジオパークの見どころ20か所を掲載した。



#### 3 その他

- (1) 市内小中高生から参加者を募集し、宿泊研修を行う「あいら未来特使団」の事前研修において、ジオパーク学習を重富海岸で行った。また、参加者にはジオパークキャラクターの入ったポロシャツを配布した。
- (2) 「サイエンスリーダー養成講座」では、科学の専門家と一緒に、地元の身近な自然(天文学、発酵学、地質学)に関する講座を実施し、観察・実験を通して科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学への見方・考え方を豊かにすることができた。



### [参考] 垂水市事業

#### 1 ジオパーク活動に関する情報発信

垂水市のホームページや広報誌「TARUMIZU」、水産商工観光課 Facebook等において、ジオパーク活動に関する情報発信を行った。

#### 2 鹿児島空港看板設置

鹿児島空港国内線ターミナル(出発ロビー)に、垂水市から望む桜島の風景及び桜島・錦江湾ジオパークのロゴを掲載した看板を掲出した。

#### 3 垂水市観光協会事業との連携

垂水市観光協会が実施した「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業(観光庁補助事業)」において、ジオ資源である養殖ブリ・カンパチを使ったメニュー及び食育ツールを開発した。





第3号議案

令和4年度収支決算

【収入】

【単位：円】

款項	目	予算額	流用額	予算現額	収入済額	増減額	備考
負担金		20,193,000	0	20,193,000	20,193,000	0	
	負担金	20,193,000		20,193,000	20,193,000	0	鹿児島市、始良市、垂水市
協賛金		300,000	0	300,000	0	▲ 300,000	
	協賛金	300,000		300,000	0	▲ 300,000	
寄附金		150,000	0	150,000	150,630	630	
	寄附金	150,000		150,000	150,630	630	寄附金（白金酒造株式会社）
諸収入		380,430	0	380,430	1,292,142	911,712	
	諸収入	380,430		380,430	1,292,142	911,712	グッズ等販売、預金利息
繰越金		4,726,570	0	4,726,570	4,726,570	0	
	繰越金	4,726,570		4,726,570	4,726,570	0	前年度繰越
合計		25,750,000	0	25,750,000	26,362,342	612,342	

【支出】

【単位：円】

款項	目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	不用額	主な内訳
事業費		17,630,000	0	17,630,000	12,734,826	4,895,174	
	経済活動費	13,950,000		13,950,000	9,731,165	4,218,835	・ 桜島エリアマップ印刷製本費 1,287,000 ・ 活動支援業務委託料 6,106,870
	教育活動費	2,572,000		2,572,000	2,210,563	361,437	・ 副読本印刷製本費 1,624,150
	保護・保全活動費	1,108,000		1,108,000	793,098	314,902	・ 学術研究助成金 600,000
事務局費		7,820,000	0	7,820,000	7,792,758	27,242	
	協議会運営費	7,820,000		7,820,000	7,792,758	27,242	・ 委託料 (推進活動支援業務委託料、PRグッズ作成等) 3,900,192 ・ 負担金 (JGN年会費、APGN出席負担金等) 1,006,000
予備費		300,000	0	300,000	0	300,000	
	予備費	300,000		300,000		300,000	
合計		25,750,000	0	25,750,000	20,527,584	5,222,416	

(収入済額計) 26,362,342 円 - (支出済額計) 20,527,584 円 = 5,834,758 円 (翌年度へ繰越)

令和4年度  
桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会  
会計監査報告

令和4年度桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会の会計収支決算について、関係帳簿、預金通帳、領収書を基に監査いたしましたところ、適正に処理されていることを認めましたので、報告いたします。

令和5年4月20日

監事 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会

専務理事 池田 哲也



監事 鹿児島市ホテル旅館組合

理事長 淵村 文一郎



## 第4号議案

### 令和5年度事業計画（案）

「持続可能な地域づくり」を目指し、観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図り、ツアーの実施など、地域と一体となったジオパーク活動の取組を推進する。

#### 基本方針1 経済

##### (1) 観光振興

- ・ジオツアー
- ・スタンプラリー
- ・セミナー・ワークショップ等（※ストーリーづくりや説明板の作成に係る取組）
- ・ガイドマップの作成
- ・説明板の作成
- ・認定ジオガイド新規養成及び活動支援  
環境省霧島錦江湾国立公園管理事務所と連携し認定ジオガイド新規養成講座を実施する。
- ・鹿児島県の石の文化と火山のつながりプロモーション
- ・体験アクティビティ等プロモーション
- ・日本ジオパーク認定10周年イベントの開催 **拡充**  
日本ジオパークの認定10周年を記念するイベントを開催し、ジオパークの認知度向上やエリア内の地域活性化、交流人口の拡大を図る。
- ・ジオ×アートプロジェクト **新規**  
桜島島内にある退避壕にアートを施し、エリア内の住民と観光客の回遊性と防災意識の向上を図る。

##### (2) 産業振興

- ・ジオガストロノミープロモーション
- ・ブランド力向上・商品開発

#### 基本方針2 教育

##### (1) 環境教育

- ・スケッチコンクール
- ・ジオキッズ講座

##### (2) 防災教育

- ・防災カードゲーム「詮議（桜島火山対策の巻）」の実施
- ・桜島火山爆発総合防災訓練への参加

##### (3) 地球科学的教育

- ・小学6年生向け副読本の増刷・活用
- ・スーパーサイエンスハイスクールの課題研究に対する支援

### 基本方針3 保護・保全

- (1) ジオサイトの適切な保全
  - ・ジオ資源保全台帳の整備
  - ・ジオ資源保全会議の開催
  - ・ジオ資源パトロールの実施
- (2) 学術的根拠の充実
  - ・学術研究助成の実施

### 基本方針4 運営体制

- (1) 協議会体制
  - ・霧島ジオパークとのエリア統合に向けた協議

<ユネスコ世界ジオパーク認定までの流れ> 以下の申請を順次行う。

  - ①桜島・錦江湾と霧島のエリア統合申請
  - ②統合ジオパークの国内推薦申請
  - ③ユネスコ世界ジオパーク申請
- (2) 地域社会の参画
  - ・ジオカフェ
  - ・民間企業との連携
- (3) ネットワーク活動
  - ・第10回ジオパーク国際ユネスコ会議への出席 新規  
世界ジオパークとの関係構築及び当地域の事例についての口頭発表、ポスター発表を行うため、本会議に出席する。
  - ・アジア太平洋ジオパークネットワークオンライン会議への参加
  - ・海外ジオパークとの交流
  - ・日本ジオパークネットワーク2023年度通常総会
  - ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会
  - ・全地域事務局長会議
  - ・第13回日本ジオパーク全国大会関東ブロック  
令和5年10月28日（土）～30日（月）
  - ・第18回全国研修会（場所未定）
- (4) 広報・広聴
  - ・ホームページやSNSによる情報発信
  - ・イベントにおけるPR活動（日本ジオパーク全国大会、他地域イベントなど）
  - ・桜島に関する情報発信

第5号議案

令和5年度収支予算（案）

【収入】

[単位：円]

款項	目	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増減額	備考
負担金		22,985,000	20,193,000	2,792,000	
	負担金	22,985,000	20,193,000	2,792,000	5年度:鹿児島市17,924千円、始良市3,334千円、垂水市1,727千円
協賛金		300,000	300,000	0	
	協賛金	300,000	300,000	0	広告協賛金
寄附金		150,000	150,000	0	
	寄附金	150,000	150,000	0	寄附金
諸収入		580,242	380,430	199,812	
	諸収入	580,242	380,430	199,812	預金利息、PRグッズ(ポロシャツ等)販売収入など
繰越金		5,834,758	4,726,570	1,108,188	
	繰越金	5,834,758	4,726,570	1,108,188	前年度繰越
	合計	29,850,000	25,750,000	4,100,000	

【支出】

[単位：円]

款項	目	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増減額	主な内訳
事業費		21,344,000	17,630,000	3,714,000	
	経済活動費	17,967,000	13,950,000	4,017,000	ガイドマップ印刷経費等  認定10周年記念イベント【拡】 4,700,000  ジオ×アートプロジェクト【新】 300,000  ジオツアー 1,404,095
	教育活動費	2,269,000	2,572,000	▲ 303,000	副読本作成経費 1,766,330  スケッチコンクール 192,330
	保護・保全活動費	1,108,000	1,108,000	0	学術研究助成 928,000  ジオ資源パトロール 180,000
事務局費		8,206,000	7,820,000	386,000	
	協議会運営費	8,206,000	7,820,000	386,000	旅費 3,446,000 (JGN総会、全国大会、全国研修会、九州ジオパーク連絡会など)  各種負担金 1,127,000 (JGN年会費、JGN活動負担金、国際ユネスコ会議出席負担金など)  委託料 3,185,000 (ワーキンググループ開催、ホームページ保守管理、情報発信、PRグッズ作成など)
予備費		300,000	300,000	0	
	予備費	300,000	300,000	0	
	合計	29,850,000	25,750,000	4,100,000	

ただし、必要な経費に過不足が生じたときは、収入の範囲内で、必要な経費に使用できるものとする。